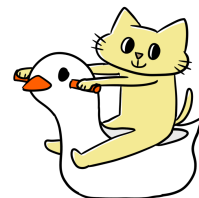




こもれび新聞



ネコちゃん と トイレ



今回は、寒くなると増えてくる猫ちゃんの”おしっこ”に関する病気についてお話します。

若いネコちゃんには、猫下部尿路疾患（FLUTD）が多い傾向があります。FLUTDとは膀胱から尿道までの下部尿路に起こる様々な病気や症状の総称です。代表的なものとして、尿路結石、膀胱炎があります。

☆尿路結石（尿石症）

尿管、膀胱、尿道に尿石という固い物質ができて、粘膜を傷つけたり尿管や尿道につまったりします。症状として、血尿、頻尿、おしっこがキラキラして見える（結晶が混じっている）、トイレに何度も行くが排尿をしない、などがあります。

尿管・尿道に尿石が詰まってしまい全くおしっこが出なくなってしまうと急性腎不全になり、最悪の場合死に至ることもあります。特に男の子は尿道が細く詰まりやすいため、注意が必要です。

☆膀胱炎

ネコちゃんでは細菌感染による膀胱炎より、特発性膀胱炎（原因不明の膀胱炎）が多いと言われています。再発を繰り返すことも多い病気です。

●FLUTDの原因

飲水量の不足、肥満、運動不足、ストレスなど。

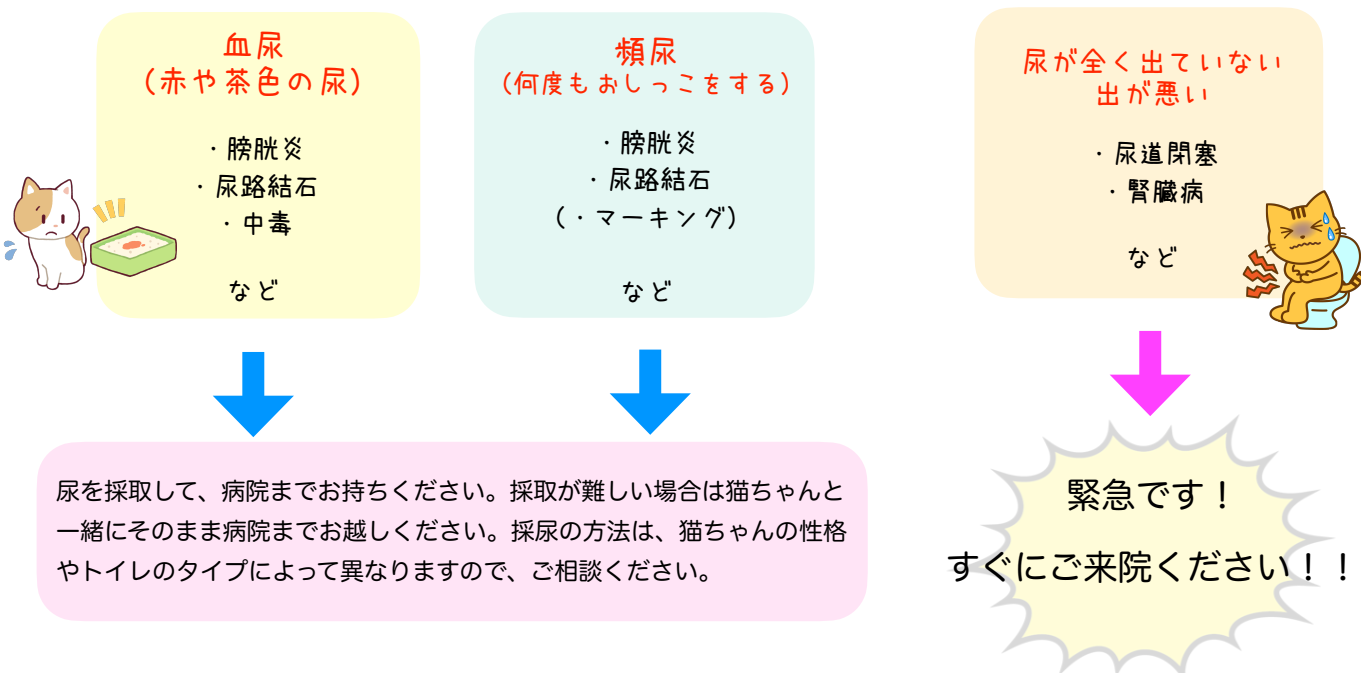
特に猫はストレスを感じやすく、気候の変化、来客、トイレの位置や砂の変化などがストレスの原因となります。



尿石（膀胱結石）

●治療・管理

尿石が詰まった場合、外科的に取り除きます。膀胱炎や尿石症の場合、お薬で治療を行ったり、食事管理で予防をします。





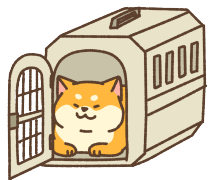
動物と防災 について



近年、異常気象による災害が増えています。災害時に避難をする必要がある場合、ペットはどうすればいいのでしょうか？普段から準備できることはあるでしょうか？まとめてみました。

避難所に行く場合

事前に避難経路や動物の受け入れをしている避難所が近くにあるかどうか調べておきましょう。そして、キャリーケースやケージに入れて連れていきましょう。そのためには普段からキャリーケースやケージに慣らしておく必要があります。



災害時の一時預かりの施設では予防をしていることが条件となることもあるのでワクチンやノミダニ予防など、普段からしっかりと健康管理をすることが大事になります。

災害時に備えて準備しておくもの

普段食べているごはんを1袋多く常備して、消費しながら備えましょう。（これをローリングストック法といいます）また、いつも飲んでいるお薬があれば、薬の名前や量を把握しておくことが大切です。当院ではお薬説明書をお渡ししていますので、お薬と一緒に保管していただきお役立てください。



万が一、逃げたり迷子になってしまった時のために

災害時には、動物たちが驚いて逃げてしまったり、家族とはぐれて迷子になってしまうことも考えられます。普段から首輪に迷子札、鑑札、狂犬病注射済票をつけておくと、万が一の時も安心です。また、首輪が抜けたり切れてしまった時でもマイクロチップを挿入していると情報を読み取ることができます。

当院でもマイクロチップの挿入をおこなっておりますので、ご希望の方はお申し付けください。



トリミング予約受付中です！

お電話でもご予約お待ちしております。
実施日は火曜・土曜日です☆

トリミングに来てくれた
ワンちゃん
ご紹介コーナー！



☆メロディちゃん☆
カメラ目線が上手なトイプーちゃん。
5mmカットでスッキリしました！



☆西風(ナライ)ちゃん☆
笑顔がステキなゴールデンさん。
すごくフレンドリーです！



☆ラミちゃん☆
初めてご利用のトイプーちゃん。
とってもおりこうさんでした！

☆LINE公式アカウントができました！☆

下記のQRコードを読み込んでいただくか、LINEで『こもれびペットクリニック』と検索してください。



LINEでごはんの
注文もできるよ



こもれびペットクリニック

〒243-0410

神奈川県海老名市杉久保北4丁目3-11

TEL 046-206-4539

Komorebi-pet.jp

